



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 3月 7日

日本鉄道労働組合連合会

JR東海ユニオン 第3回団体交渉

制度改善要求に関する議論を開始

花粉防止の防護メガネ使用、新幹線電気系統指令の制服増貸与など確認

JR東海ユニオンは3月1日、2022春季生活闘争の第3回団体交渉を行った。

当日は、労働時間の適正化に向けた長時間労働時間の是正をはじめ、業務量に応じた適正な要員配置、勤務制約者を包摂する柔軟な働き方の実現に加え、専任社員制度や福利厚生制度の更なる充実などについて協議した。

交渉では会社から、運転従事員への花粉防止用の防護メガネ着用許可や新幹線電気系統指令への制服増貸与などが示された。

JR東海ユニオンは、組合員のこれまでの努力に報いるべく、「ハートフルカンパニー」の実現に向け、引き続き、団体交渉を展開していくこととしている。

【主な議論（主張）内容】 ※下線部は、現時点で前進を確認した事項

Ⅱ 制度改善要求について

○労働時間管理の適正化に向けた継続的な取組みによる長時間労働の是正

超勤削減、総実労働時間削減、不払い残業、勤務間インターバル制、副業

○業務量に応じた適正な要員配置、業務削減及び業務改革の推進

基準人員の見直し、新入社員の非基準人員化、看護師の欠員補充対策、業務効率化、年休取得促進、時間単位の年休、保存休暇

○育児・介護をはじめとした勤務制約者を包摂する柔軟な働き方の実現

育児短縮休暇、看護休暇、深夜業制限・緩和、介護短縮休暇、介護休職、自己都合休職、不妊治療、柔軟な作業ダイヤ、法改正対応、エリアチェンジ制度、再任用制度、企業主導型保育所、女性用設備の改善・拡充、生理休暇

○専任社員制度をはじめとした60歳以降の労働条件の更なる充実

専任社員の労働条件・処遇改善、法改正対応、シニア契約社員

○充実した人生を支える福利厚生制度の一層の充実

安全衛生活動、メンタルヘルス不調、制服改善・貸与数増、クールビズ、住宅補給金、社宅・寮制度、承認住宅、支給要件の緩和、指定席利用、職域接種、健康診断、インフルエンザ予防接種、人間ドック、SAS、マスク等着用、健康増進施策、職場レク、寝具、サングラス、購入券、福祉会補助など